



Quality
品質



Society
社会



Management
経営マネジメント



Environment
環境

編集方針

不二家は、2003年から毎年「環境報告書」を作成し、環境問題への取り組みや考え方をご報告してまいりました。そして、2008年から、より広く企業の社会的な活動を報告することが企業が果たすべきCSR(企業の社会的責任)であるという考えのもと、「CSR報告書」としてまとめております。

本報告書では不二家のCSR活動を「品質」「経営マネジメント」「社会」「環境」の4項目にまとめ、それぞれ具体的にどのような取り組みを行っているかのご報告をしています。

報告対象範囲

本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

本報告書から、決算月変更に伴い報告対象期間を変更しています。

尚、環境報告部分の環境データにつきましては、ISO14001の規格に基づいて活動している製造6工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場、泉佐野工場)のデータを収集・記載しています。

製造6工場のISO14001 認証取得年月と環境負荷データ集計対象範囲

	ISO14001 認証取得年月	環境負荷データ集計対象工場									
		2003年 (4月~3月)	2004年 (4月~3月)	2005年 (4月~3月)	2006年 (4月~3月)	2007年 (4月~3月)	2008年 (4月~3月)	2009年 (4月~3月)	2010年 (4月~3月)	2011年 (1月~12月)	
菓子	秦野工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平塚工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	富士裾野工場	2001年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
洋菓子	野木工場	2003年 4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	埼玉工場	2004年10月	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	泉佐野工場	2006年10月	-	-	-	○	○	○	○	○	○

報告対象期間

2011年1月～2011年12月 ※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

発行年月

2012年6月

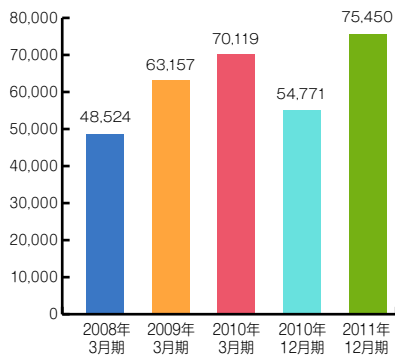
Contents

編集方針 P 2	企業理念 P 5
会社概要 P 3	不二家とステークホルダー／CSR推進方針 P 6
トップメッセージ P 4	東日本大震災への対応 P 7
品質			
安全・安心のために P 9		
経営マネジメント			
コーポレートガバナンスと内部統制 P14	リスクマネジメント・セキュリティ P16
コンプライアンス・活動 P15		
社会			
お客様とともに P17	従業員とともに P21
株主・投資家の皆様とともに P20	不二家ファミリー文化研究所 P25
環境			
環境方針／環境マネジメント P27	環境保全活動 P30
事業活動のマテリアルバランス P29		
不二家のあゆみ P34		

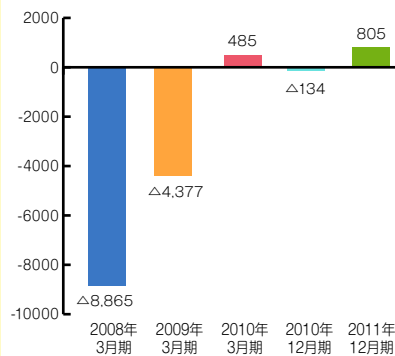
会社概要 (2011年12月31日現在)

社名(商号)	株式会社不二家
本店所在地	〒112-0012 東京都文京区大塚二丁目15番6号
代表者	取締役会長 山田憲典 取締役社長 櫻井康文
創業	1910年(明治43年)11月
設立年月日	1938年(昭和13年)6月
資本金	18,280百万円
従業員数	正社員1,026名
主要関係会社	山崎製パン株式会社、株式会社不二家フードサービス、株式会社ダロワイヨジャパン株式会社、株式会社ユトリア不二家、B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社 日本食材株式会社、不二家サンヨー株式会社 不二家乳業株式会社、不二家(杭州)食品有限公司、株式会社不二家システムセンター 不二家テクノ株式会社
営業部・支店	東京、大阪、愛知、福岡、仙台、札幌など全国の主要地
店舗	銀座、渋谷、横浜、名古屋、大阪、博多、札幌など全国の主要地
工場	秦野(神奈川県)、平塚(神奈川県)、富士裾野(静岡県)、野木(栃木県)、埼玉(埼玉県)、泉佐野(大阪府)、吉野ヶ里(佐賀県)、札幌(北海道)

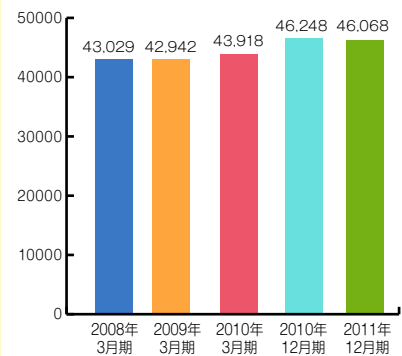
単体売上高(単位:百万円)



単体経常利益(単位:百万円)



単体総資産(単位:百万円)



※決算期変更のため、2010年12月期は9ヶ月決算。

事業内容

洋菓子事業

ケーキ、ベーカリー、デザート、アイスクリームなど洋菓子類の製造販売、喫茶店及び飲食店の経営



菓子事業

チョコレート、キャンディ、焼菓子など菓子の製造販売



食品事業

飲料及び乳製品など食品の製造販売



※各商品などの詳細は、不二家ウェブサイトにてご覧いただけます。
不二家ウェブサイトURL <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

その他事業

業務内容：不二家システムセンターの事務受託業務及び不動産の賃貸、管理など

トップメッセージ

愛と誠心まごころと感謝をこめて、 お客様に愛される不二家になります。

私たち不二家は、常に「おかあさんの気持ち」「家族の絆」という視点を大切に考えて長年企業活動を行ってまいりました。これはひとえに皆様方の温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

私たちは、お菓子が家族をつなぎ、家族の幸せに貢献する大切なコミュニケーションツールであると考え、お菓子を通じて家族の団欒の場を作るお手伝いをしてきました。

誕生日や七五三、クリスマスなど、家族で過ごす楽しい時間、毎日のおやつ。その笑顔の隣に、不二家のお菓子があること。それが私たちの喜びです。

2011年、日本は東日本大震災という未曾有の大災害を経験しました。不二家としても、できる限りの支援をさせていただき、微力ながら復興への貢献をしてまいりました。お菓子や募金での支援はもちろんのこと、本来の事業活動を通じ、お客様の笑顔や家族の絆作りに貢献することも、具体的な復興への支援となります。今後も具体的な活動を維持し、継続していくことが重要だと考えております。

不二家のCSR活動が目指しているものは、事業活動を通じて社会に貢献し、社会と当社が持続的に発展することです。企業として当然の責務である法令遵守はもちろんのこと、「食の安全・安心」の取り組みを積極的に行い、事業活動を行ってまいります。また、次の世代に、この美しい自然環境を残すことに貢献することも不二家の果たすべき責任のひとつであると考えております。今後も継続して社会の要請に応えてまいります。

本報告書を通じて、不二家のCSR活動への取り組み姿勢、活動内容をご理解いただきますとともに、今後の活動に向けて、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

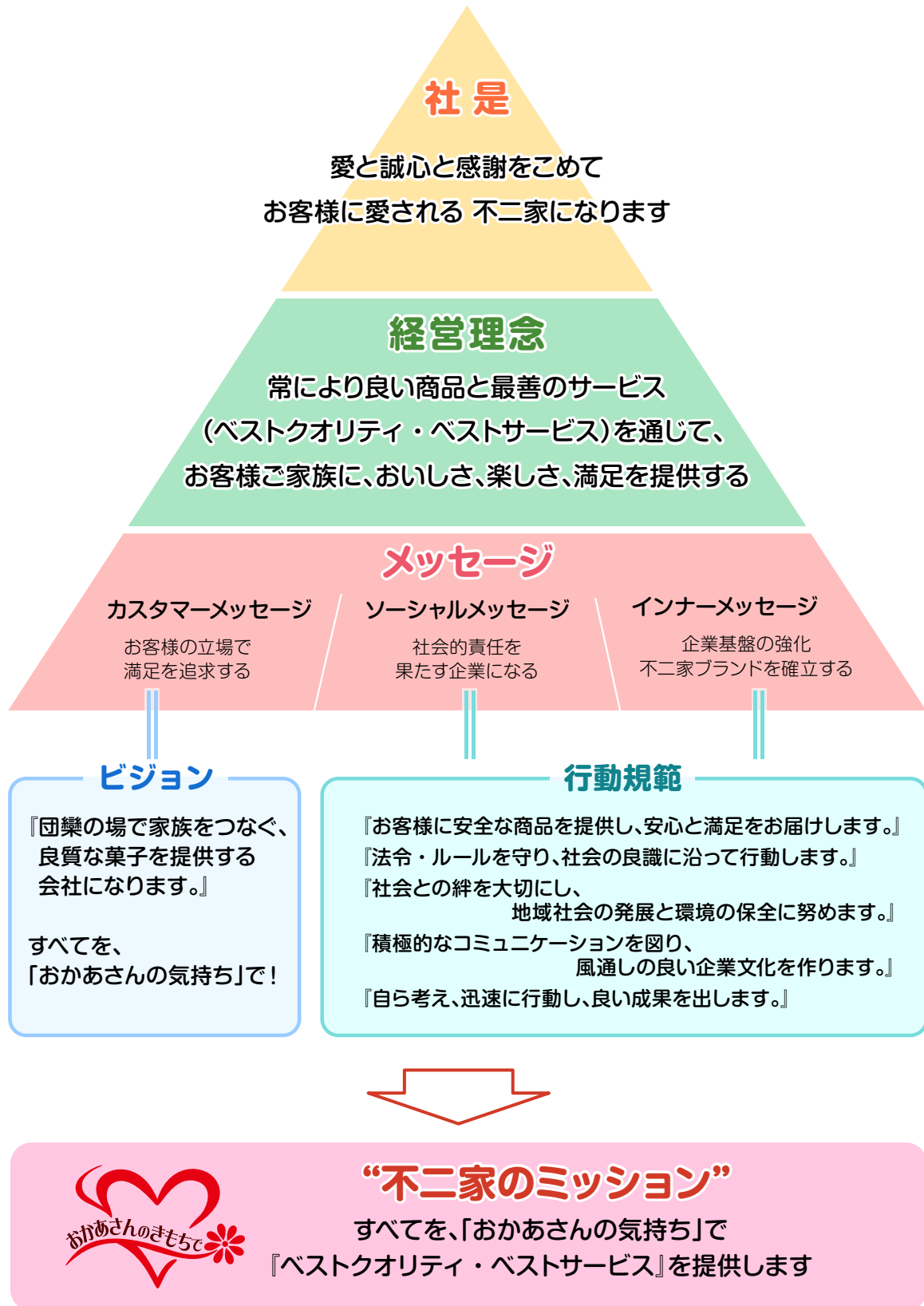
代表取締役社長

櫻井康文



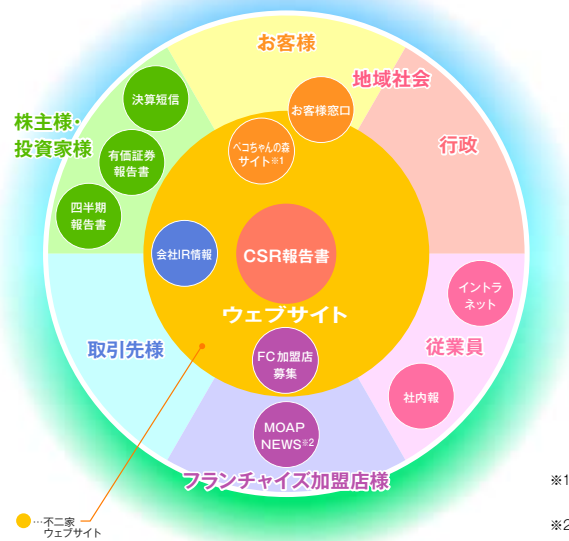
企業理念

不二家の企業理念や、未来に向けたビジョン、ミッションをご紹介します。



不二家とステークホルダー

不二家は企業活動を通じて関わる、社外・社内のさまざまなステークホルダーの皆様の期待に応え、信頼関係を構築するために、ウェブサイトを中心とした各種ツールを活用し情報発信をしています。



※1 ベコちゃんの森サイト：不二家ファミリー文化研究所が運営するウェブサイト。詳細は、P25をご覧ください。

※2 MOAPNEWS：商品案内や販促計画のお知らせ。

お客様・地域社会

常により良い商品と最善のサービス、お客様との双方向のコミュニケーション、また、さまざまなご要望・ご指摘への速やかな対応を通じて、お客様との信頼関係の構築に努めます。

行政

適時・適正に情報を開示し、良好な関係を維持します。

株主様・投資家様

積極的な情報開示を行い、企業価値向上に努め、株主様の期待に応えていきます。

取引先様

公正で透明な取引を行い、情報の共有化を図るなど、ともに企業の発展を目指します。

フランチャイズ加盟店様

パートナーとしての信頼関係のもと、共存共栄を継続します。

従業員

従業員ひとりひとりが能力を発揮できる労働環境を整備し、人材を大切にします。

CSR 推進方針

不二家のCSR

不二家のCSRは、コンプライアンスはもちろんのこと、本業を通じてお客様に安全・安心な商品と最善のサービスを提供すること、適切な情報開示及び環境問題などへの取り組みを通じてステークホルダーの期待に応えていくことだと考えています。

不二家は、CSR活動を推進し企業価値を高めていくために掲げた、「品質」「経営マネジメント」「社会」「環境」の4つの項目に積極的に取り組んでまいります。健全な経営を継続することで企業価値向上を目指し、社会から信頼される良識ある企業として責任を果たしてまいります。

● CSR 推進体制

CSR活動を強力にサポートするために、社長直轄組織である「CSR推進部」を設置し、この中に「コンプライアンス室」「広報室」「不二家ファミリー文化研究所」を配置、関連部門と連携しながら活動を推進しています。「コンプライアンス室」は、従業員が高い倫理観を持ち、社会の要請に柔軟に応じていく風土を醸成するために、継続的にコンプライアンス教育を行っています。「広報室」は、迅速で公正・公平な情報開示を通じて経営の透明性を高め、社内外に適切な情報を提供しています。「不二家ファミリー文化研究所」では、お客様とのふれあいの場を持つための各種イベント（コミュニケーション）や、食育・環境への取り組みを行っています。

東日本大震災への対応

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に際しまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

当社グループは被害回復に向けて全力で取り組むと同時に、被災地復興のため、さまざまな活動を行ってまいりました。

改めて、当社グループの取り組みについてご報告いたします。

1. 被災地に対する支援物資について

当社グループでは農林水産省を通して、「24本ペコウェアースチョコレート」6,000袋、「22枚ホームパイ(ハニートースト)」12,000袋を無償で提供いたしました。

その他自治体、団体などの要請に対応し、各種商品を支援物資として提供しました。



農水省からの表彰



宮城県女川町物資集積所
写真提供:公益財団法人国際開発救援財団

2. 募金活動について

不二家洋菓子店・不二家レストランにおいて、「日本を元気に! ペコちゃんと応援!」募金を実施し、期間中対象商品を1個お買い上げいただくごとに、当社より100円を寄付する取り組みを行いました。

また、一部洋菓子店(368店)において「ヤマザキ『ラブ・ローフ』募金」の募金箱を設置し、募金活動を実施いたしました。

集まった募金は、「特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン」及び「公益財団法人国際開発救援財団(FIDR)」の両団体に贈呈し、緊急援助活動に役立てられました。

さらに、2012年1月には、売上金の一部を震災復興支援のために寄付する「カンントリーマムアソート東北応援」を発売し「公益財団法人国際開発救援財団(FIDR)」に贈呈しています。



寄付金目録授与の様子
(公益財団法人国際開発救援財団)



寄付金目録授与の様子
(特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン)

3. 節電対策について

政府の「節電実行基本方針」に基づき、当社グループでもさまざまな節電対策を実施いたしました。

工場では製造ラインの集約、LED照明や自家発電機の導入、休日の振り替えなどを実施。店舗ではお客様の安全性の妨げにならない範囲で、店頭看板や店内照明を一部消灯いたしました。さらに、不二家本社でも、不要照明の消灯はもちろんのこと、室内温度上昇を防ぐために大型扇風機の稼働や窓枠への発泡スチロールの設置を行いました。

引き続き、節電対策に取り組んでまいります。



設置した自家発電機



3月13日より消灯していた銀座数寄屋橋の
電気広告塔の再点灯(2011年10月1日)

4. ペコちゃん被災地訪問

平成23年4月～5月及び12月にペコちゃんと当社社員がキャラバンカーに乗り、福島県・宮城県・岩手県の被災地を訪問しました。小学校や避難所、不二家洋菓子店などを訪れ、キャンディのつかみ取りやペコちゃんとの記念撮影、ジャンケン大会やクイズ大会のイベントを実施し、被災地域の方々に笑顔をお届けしました。

また、震災の影響で活動を自粛していた、全国の児童施設を訪問する企画「ペコちゃんが行く！ 不二家キャラバン隊」の活動を10月から再開しました。再開直後は被災地の保育所・幼稚園を訪問し、クイズ大会やペコちゃんの歌に合わせたダンスを通じ、子供たちの笑顔を取り戻すお手伝いをしました。

●ペコちゃん被災地訪問

日程	訪問場所
4月22日～23日	福島県内4店舗、小学校1箇所
4月28日～29日	福島県内5店舗
5月16日～19日	宮城県内5店舗、保育所1箇所、避難所3箇所
12月10日	岩手県山田町(「子供のためのクリスマスイベント」協力)

●ペコちゃんが行く！ 不二家キャラバン隊

日程	訪問場所
10月4日～7日	岩手県内保育所・幼稚園8箇所
11月7日～11日	宮城県、福島県内保育所・幼稚園9箇所
11月28日～12月2日	福島県内保育所・幼稚園9箇所

<被災地訪問の様子>



岩手県宮古市津軽石仮設保育所



宮城県登米市津山町避難所



福島県いわき市立高久小学校



宮城県岩沼市避難所

VOICE

被災地訪問スタッフの感想

ペコちゃんが登場すると、子供から大人までたくさんの笑顔が溢れ、その笑顔から逆に元気をもらいました。私自身、阪神大震災の折には全国からさまざまな支援をしていただき、今に至っています。今回の東日本大震災において、1人でも多くの方と一緒に笑顔になれたらと思いスタッフとして参加いたしました。本当に貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

秦野工場 山腰 春香



被災地では家屋が倒壊し瓦礫の山が広がり、今もなお残る震災の爪跡に愕然としました。そのような状況でも、ペコちゃんと触れ合うことで被災者の皆様が笑顔になり、嬉しそうにキャンディを頬張っている姿を見て、私自身優しい気持ちになれました。ペコちゃんは「優しさ」や「家族の愛」が詰まった存在なのだと思えて感じました。

総務部 小野 由美子





品質

P9 安全・安心のために

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全・安心な品質のうえに成り立っていると考えます。

商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、CSR活動の最優先課題として取り組んでいます。



安全・安心のために

● 品質管理体制

不二家は、社長直轄の組織である食品安全衛生管理本部を中心に、常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全に努めています。

第一に、科学的根拠に立脚したAIBやISO9001といった食品管理システムを導入し、第二に、このシステムを有効に機能させるための安全衛生管理組織の確立を図り、第三に、システムを維持、運営、改善し、組織を活性化させる柱となる従業員教育を行っています。

さらに、現場に即した「本物の5S活動」により、より安全で衛生的な環境作りを行っています。

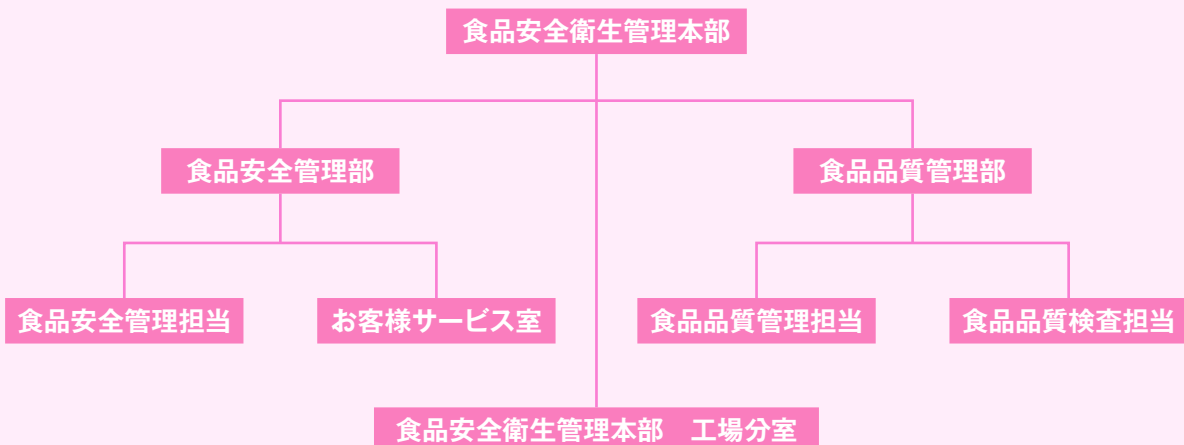
食品安全衛生管理本部は「食品安全管理部」と「食品品質管理部」の2部門体制のもと、組織強化を図っています。

また、各工場に食品安全衛生管理本部の組織として分室を設置し、業務の独立性を高め、チェック機能を強化するとともに、細菌検査体制などについても設備の充実、人員の強化を行っています。



食品衛生教育の様子

食品安全衛生管理本部組織図

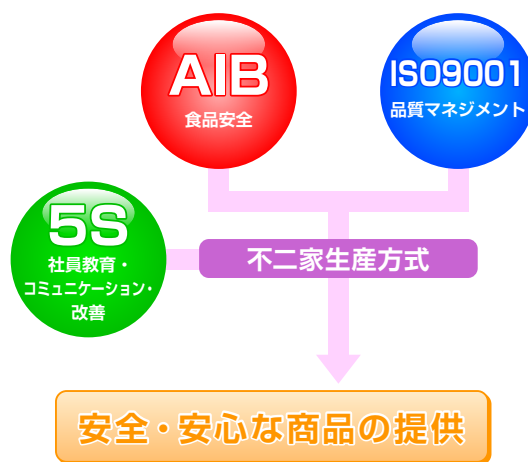


● 食品安全のための独自の生産システム

不二家では食品安全を担保するために、経営陣の強い意志のもと、次の3つに取り組んでいます。

- ①健全で安全な食品を提供するための「AIB国際検査統合基準」に基づくAIBフードセーフティへの取り組み
- ②お客様満足の向上と製品・サービスの品質の維持・向上のための品質マネジメントシステムである「ISO9001:2008」の運用
- ③より安全で衛生的な生産環境作りのための、全員参加・全員活動の「本物の5S」への取り組み

これらの活動が工場において相互補完し、1つの「不二家生産方式」として統合・機能すべく、日々取り組んでいます。また、本社や店舗においても工場の取り組みを参考に活動し、食品安全の維持・向上に努めています。



● 不二家におけるAIB(American Institute of Baking)フードセーフティの取り組みについて

不二家では2007年2月より、洋菓子5工場、菓子3工場のすべての工場でAIBフードセーフティへの取り組みを行っています。AIBフードセーフティとは、米国にあるAIB(米国製パン研究所)が食品安全衛生に関する法律・規則を基に独自に設定した「AIB国際検査統合基準」に則って、食品安全衛生管理を有効に機能させるために行う活動です。「AIB国際検査統合基準」には、原材料の入荷から製品の出荷まで安全性を確保するために下記の5つのカテゴリーで構成されています。

①作業方法と従業員規範

製品が従業員や生産工程によって汚染されることを防ぐ方法を示しています。

②食品安全のためのメンテナンス

施設や設備が衛生上、及び食品安全上の危害を招かないように、最適な設計や保全方法を示しています。

③清掃活動

製品の汚染を回避するための清掃に関するガイドラインを示しています。

④総合的有害生物管理

有害生物(鼠族、昆虫類)による食品の汚染を避けるための管理する方策を示しています。

⑤前提条件と食品安全プログラムの妥当性

前提条件プログラムを施設全体に一貫して実施していることを確実にするための基準を示しています。

各カテゴリーで詳細に守る事項が決められており、合わせると約100項目になります。AIBでは、外部専門機関による監査があり、点数で評価します。「AIB国際検査統合基準」の5つのカテゴリーが各200点の配点を持ち、総合評価として1000点満点で採点されます。

不二家ではこの外部専門機関でのAIB監査を実施し、全ての工場で合格点をいただきました。導入後も「AIB国際検査統合基準」に則って、各工場



秦野工場でのAIB指導監査の様子

各工場では工場各部門の代表者で構成される自主検査チームを結成し、月1回、全ての製造設備に対して「AIB国際検査統合基準」に適合しているかの確認のため自主検査を実施し、不適合箇所を抽出し、必要な改善措置を計画的に実施しています。改善措置については、月1回実施している「食品安全衛生委員会」で、改善進捗確認を行い、常にシステムの維持向上に努めています。また、AIB活動のレベルアップのために、昨年は秦野工場外部専門機関によるAIB指導監査を受けました。今年は、他工場についても順次、指導監査を受ける予定です。

今後もお客様へ安心・安全な商品をお届けするよう、AIBフードセーフティを継続的に取り組んでいきます。

● ISO9001 : 2008

不二家は、2005年よりISO9001^{*1}品質マネジメントシステムを導入し、2006年6月に外部審査機関による審査で認証を取得しました。現在も、常に安全・安心な製品をお客様にお届けするため、品質方針^{*2}・目標を掲げ、その遵守または達成に向けて、内部監査(年2回)や製造現場を中心とした各職場での日々の問題発見と改善活動を継続しています。さらに、これらの活動を学ぶ機会としてもとらえ、各職場のリーダー、担当者の安全・安心に対する意識と技術の向上を図っています。また、品質マネジメントシステムに関する活動の情報交換の場として、社長・各部門長出席のもとQMS会議^{*3}を毎月開催しています。今後も、食の安全・安心とお客様満足の向上のため、継続的な改善活動を行ってまいります。

※1 ISO9001適用範囲(2012年5月現在)

菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、購買部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場

[菓子事業本部統括部・広域営業部、食品安全衛生管理本部、食品品質検査担当・洋菓子工場分室は除く]

※2 品質方針

社長によって表明される不二家としての品質に関わる全般的な方向付け

不二家 品質方針(2007年3月7日付)は以下の5項目からなる

- (1) 当社はお客様に満足いただける環境に配慮した安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
- (2) そのために、各種関連の法律を守り、品質マネジメントシステムを通じて安心・安全な品質保証体制を整備し確立します。
- (3) 作業ルールの遵守はもとより、開発、製造各段階の流れと責任を明確にして、クレームの未然防止と再発防止に努めます。
- (4) 品質マネジメントシステムの有効性について継続的な改善を行います。
- (5) それらの実現のために、風通しのよい企業風土づくりに基づいて相互のコミュニケーションを密にし、組織体制の整備及び教育を実施してまいります。

品質方針の達成のため、各部門の品質目標を設定し、レビューするとともに、全体に周知徹底します。

※3 QMS(Quality Management System)会議

品質管理責任者が、品質マネジメントシステムが有効に機能しているかをチェックするために、毎月1回及び必要に応じて開催する会議



外部認証機関による書類審査風景



外部認証機関による現場確認風景

●「本物の5S」について

「洋菓子工場」からスタートした5S活動は、現在その取り組みを不二家全工場に広げています。

活動の1年目は、やりがいや生きがいを持てる職場作りを目的に「全従業員の知恵と工夫による快善努力から、3K(キケン・キツイ・キタナイ)、3M(ムリ・ムラ・ムダ)の排除」を実践しました。

活動の2年目からは「変化に強い生産現場の体質作り」を目的に、快善を定着させるとともに、管理者と現場リーダーが中心となって不二家工場独自の生産方式を構築。流れる生産ライン作りに取り組み、進化するモノ作りの実現に力を注いでいます。

他工場に先行してスタートし、活動4年目を迎えた埼玉工場・野木工場では、基本的な5S活動を中心に推進された第一ステージから、達成目標を明確にした本格的な生産改革という第二ステージに向けて、取り組みを始めました。

さらに、昨年からはお客様と直に接する場である洋菓子直営店での取り組みを始めました。店舗における5S活動では、工場と同様に、3K、3Mの排除により、お客様に気持ちよくご来店いただける店舗作り、また、従業員にとっても生きがいの持てる職場作りに取り組んでいます。

※快善…従業員が生きがいや、やりがいを持って仕事ができる職場を目指すことから、この漢字表記を使用しています。



店舗の5S巡回風景



工場でのグループ毎のディスカッションの様子

VOICE

直営店舗での5S活動がスタートして半年が経ちました。はじめは店舗では難しいと思うこともありましたが、「不要なものを捨てる」「定置を明記する」ということだけでも、店舗が快善されていくことがわかり、だんだんと従業員に浸透していくようになりました。まだ一部店舗だけのスタートですが、今後5S活動実施店舗を拡大し、職場環境を良くすることで、お客様へのおもてなしに繋がるように努めていきます。

洋菓子事業本部 RC店舗運営部 スーパーバイザー 青木 栄



5S活動に取り組むことにより、職場内で快善を話題にすることが多くなり、コミュニケーションがより深まるようになりました。また、継続して活動するため「今回はここに滑り止めを設置したので、次回はここにも設置しよう」など、一つの快善を発展させ、他の所の快善にもつながるように努めています。

チームリーダーとしてさまざまな意見をまとめるのは大変で、それを実行するのはさらに大変ですが、上司や仲間たちの意見を取り入れながら、今後もより一層、5S活動に力を入れていきたいと思えます。

平塚工場 チョコレート製造課 組長 市原 直輝



埼玉工場は、「本物の5S活動」が第二ステージに入り、不二家生産方式を効果的に進めてきました。具体的な活動内容としては、工場長を中心に階層別ヒトづくりとして管理・監督者を中心とする毎月の不二家生産方式推進委員会開催、月2回の5Sリーダー研修、全員参加の5Sセミナー開催及び社外セミナーへの参加が挙げられます。これからも顧客満足と付加価値を生み出す、進化するヒトづくりモノづくりを進めてまいります。

埼玉工場 総務・人事課 課長 山下 芳信



●「不二家食品安全の日」について

2007年1月、不二家は、社会並びに消費者の方々に多大なご迷惑をおかけし、食に対する不安を与えてしまいました。

不二家は一連の問題を風化させず、「食の安全・安心」に継続的に取り組んでいくため、1月11日を「不二家食品安全の日」と定め、毎年1月に本社及び各事業所にて、式典や集会を行っています。5回目を迎えた2012年の「不二家食品安全の日」の式典は、1月11日(水)に不二家本社にて開催されました。

式典では、会長の山田憲典、社長の櫻井康文の講話に続き、「食品安全衛生管理本部の業務方針」が食品安全衛生管理本部長から示されました。今回は5回目の節目を迎えたことから、一連の問題発生当時「信頼回復対策会議」議長として、原因究明などにご尽力いただいた郷原信郎先生をお迎えし、当時のことを振り返るとともに、コンプライアンスについての最新情勢を踏まえたご講演をいただきました。

郷原先生の講演内容

「コンプライアンスとは、組織が社会の要請に応えることであり、組織不祥事とは環境変化への不適應である。「法令遵守」という言葉で問題なのは、「遵守さえすれば良い」とするとそこで「思考停止」し、問題の本質を見失ってしまうことにある。食品企業に対する社会的要請は、①食の安全を確保すること、食品による健康被害を絶対に起こさないこと②供給する食品の品質・価値について正確な情報を提供すること③食品・原料を大切にし、効率的に無駄なく消費すること、の3つであり、食品企業のコンプライアンスは、この3つの要請をバランスよく充足することである。また、これからはルールを創造することが大切である。」

会長山田の講話内容

「企業は、社会に受け入れられる事業をすること、これがすべてである。また、この「不二家食品安全の日」は、会社全体のことを考える日である。これからも、現場、現地、現認の3現主義で進めていきたい。」

社長櫻井の講話内容

「一連の問題後に、不二家は食品安全、衛生面でNo.1企業を目指す、という目標を立てたが、5年目の現在、まだまだ完璧ではない。この問題を風化させないで、遺産として力にしたい。製品のみならず、サービス、内部プロセス、経営(マネジメント)における品質の向上が重要である。」



講演中の郷原先生



会場の様子



経営マネジメント

P14 コーポレートガバナンスと内部統制 P15 コンプライアンス
P16 リスクマネジメント・セキュリティ

不二家は、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営の重要課題の一つとして位置づけ取り組んでいます。

健全な企業経営を行い、持続的に企業価値向上を高めていくために、実効性のある業務執行とその監督体制を作り上げるとともに、従業員ひとりひとりのコンプライアンス意識向上を図りながら企業活動を行っています。



コーポレートガバナンスと内部統制

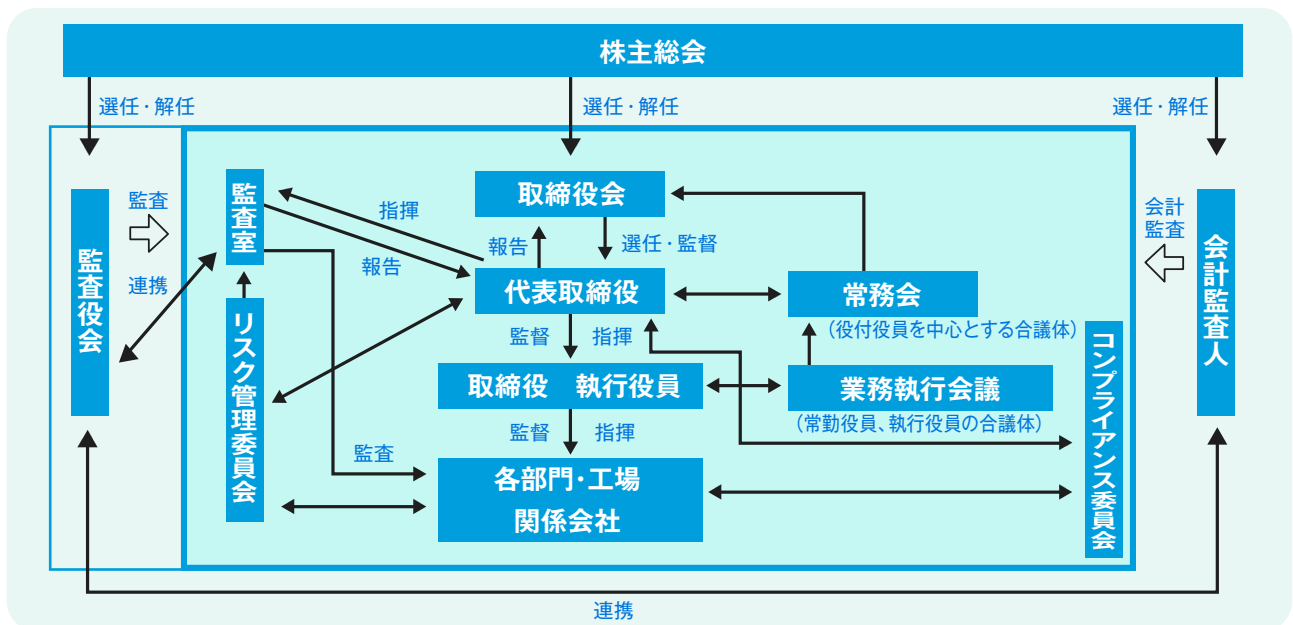
● コーポレートガバナンス

不二家は、企業理念を着実に実現する企業として、経営の健全性(コンプライアンス)・透明性(ディスクロージャー)の原則を守り、継続的に企業価値を向上させ、全てのステークホルダーから満足いただける魅力的な企業の実現を目指しています。

業務の適正さを堅持するために、取締役会・監査役制度を強化し、グループ全体のガバナンス体制を構築しています。

「取締役会」を経営意思の最高決定機関として位置づけ、主要取締役による「常務会」と、取締役に加え執行役員も出席する「業務執行会議」を、毎月2回を基本に開催しています。これによりガバナンス強化とともに意思決定及び業務執行の迅速化を図っています。

また、関係会社の経営と業務推進の方針決定に資するため、不二家本体の経営陣と関係会社社長との協議機関として、関係会社経営報告会(社長会)を設置し、関係会社への監督・支援を実行しています。



● 2011年度内部統制システムの整備・運用状況

当社は、企業会計審議会の示す内部統制の基本的枠組みに準拠して、「内部統制基本方針」を制定し、随時見直しをはかり、内部統制の整備・運用を行っています。

内部統制報告制度適用4年目の2011年度は、新たに連結対象となった在外(中国)子会社である、不二家(杭州)食品有限公司が全社的な内部統制の評価範囲に含まれたため、内部統制の体制の構築から整備までを行い、運用に結び付けました。また、3月に発生した「東日本大震災」により新たに想定されるリスクの見直しも行ったうえで自己点検や独立的评价を適正に実施しました。

今後もあらゆるリスクを想定し、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を選定したうえで整備及び運用状況の評価を行い、財務報告の信頼性をさらに高めることにより内部統制の有効性を確保し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

コンプライアンス

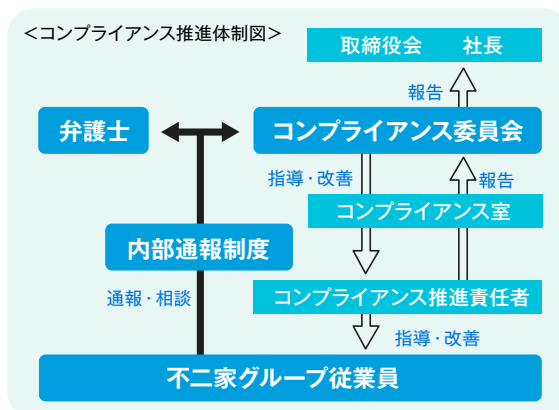
不二家はコンプライアンスを経営の基礎であり、かつ重要課題と考え、公正かつ誠実な企業活動を行い、社会に対する責任を積極的に果たしています。

社会からの要請に応えるべく、コンプライアンスを「単なる法令遵守にとどまらず、社内規程(自分たちで決めたこと)を守ることに加え、社会倫理にも適合していくこと」と捉え、企業価値向上を目指しています。

● コンプライアンス推進体制

コンプライアンス活動を不二家グループ全体で徹底、推進していくため、管掌取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、全社的な方針の制定、事故発生時の原因調査と再発防止策の策定などを行い、その結果を必要に応じて社長、取締役会に報告及び提案しています。コンプライアンス室ではコンプライアンスについての意識付けや啓蒙教育を実施しています。

また、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入し、当グループの社会的信頼の維持及び業務運営の公正性の確保に努めています。



● 内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度

グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見を目的として、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入しています。

この制度は、不二家グループ各社内にある事案や行動が、法令や行動規範に違反するかどうかなど、コンプライアンスに関する相談窓口としても機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員にコンプライアンスヘルプラインカードを配布しているほか、外部弁護士への連絡窓口を設けることで、コンプライアンスの浸透にも努めています。

● 2011年度のコンプライアンス教育

従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙を、企業価値向上のために欠くべからざる最重要課題と位置づけ、コンプライアンス教育に継続的に取り組んでいます。

2011年度は、従業員のコンプライアンス意識の向上と食品安全衛生のレベルアップを目的に、5月～7月及び10月～11月にかけて合計61回行いました。

教育の中では、2007年1月に発生した「一連の問題」から5年が経過し、二度と同じ過ちを起こさないよう、前年に作成した「後輩達に語り継ぐべき体験談集」の内容を読み合せし、貴重な経験として語り継いでいくよう行動しています。さらに、直近の食品安全に関わるさまざまな事例を紹介し、従業員が取り組むべき食品安全について情報共有を図っています。

また、新入社員研修、階層別研修、店舗トレーニングなどにおいても、コンプライアンスの基本について教育し、従業員の意識向上に努めています。



CSR推進部
コンプライアンス室
板橋 明子

2007年の「一連の問題」以降、食品安全衛生やコンプライアンスについての勉強会、外部講師による講演を継続的に実施してきました。教育を重ねるごとに従業員の意識が変化しているのを実感しています。

問題発生から5年が経ち、当時の経験や思いを風化させず、入社間もない従業員に伝えていくため、先輩の経験をまとめた「後輩達に語り継ぐべき体験談集」を作成し、全社員に配布しました。コンプライアンス教育では、これを活用し、過去の教訓を基に、普段から社会の要請を感じ取り、法律やルールを守る大切さを教えています。

今後も、食品を扱う企業に勤める者としての自覚を、従業員ひとりひとりが高めていけるよう、継続的に教育活動を行なっていきます。

リスクマネジメント・セキュリティ

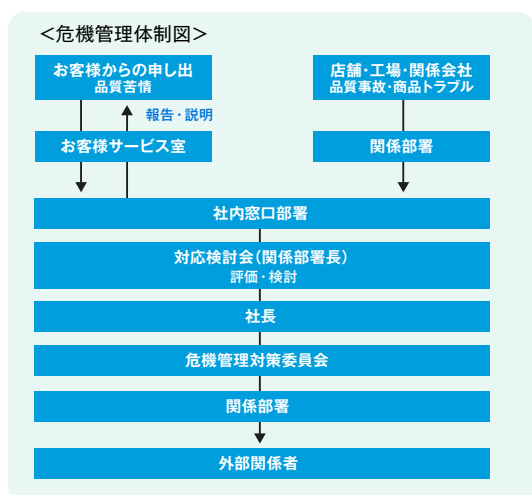
● リスクマネジメント体制の整備

不二家は食品企業として、常に「食の安全・安心」を最優先の課題とし、食品事故の未然防止と製品の安全性を向上させるため、AIB (American Institute of Baking) 国際検査統合基準による指導監査システムを導入するなど、徹底した食品安全管理体制の確立を図っています。

そのほか、事業活動に重大な影響を及ぼす恐れのある「経営リスク」・「事故・災害(環境)リスク」などに対して、事前にリスクを識別・分類・分析・評価、及び、対応を適切に行うための「リスク管理委員会」を設置し、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。また、必要に応じて、顧問弁護士などの専門家に助言・指導を求めています。

重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化した場合や、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める「危機管理対策委員会」を召集し、迅速な対応を図る危機管理体制を整備しています。

東日本大震災を契機に、本社・工場では防災意識の向上と避難訓練を実施することはもちろんのこと、営業・工場の主要拠点14ヶ所に衛星電話を設置し、緊急時の連絡体制を整備しました。さらに製品等の欠陥による製品回収を想定した「リコールシミュレーション」を初めて実施し、危機管理体制の検証も進めています。



リコールシミュレーションディスカッションの様子

● 情報セキュリティ対策

情報資産を過失、事故、災害、犯罪などの脅威から守り、社会とお客様の信頼に応えるため、情報セキュリティ基本方針を定めています。業務遂行上必要な情報資産について、適切なセキュリティ対策を講じ、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失・毀損などが発生しないよう予防を図っています。

問題が顕在化した際には、速やかに是正するように組織と体制を定め、その役割と責任者を明確にしています。また、関連諸規程並びに情報セキュリティ体制の評価と見直しを定期的・継続的に行い、適切に管理しています。



社会

P17 お客様とともに
P21 従業員とともに

P20 株主・投資家の皆様とともに
P25 不二家ファミリー文化研究所



不二家は、社会に開かれた透明性の高い企業でありたいと考え、社外の方々からのご意見を積極的に取り入れながら、「企業市民としての社会貢献活動」「事業活動の情報開示」などを行っています。また、従業員間のコミュニケーションを大切にし、活気のある健全な職場の維持に努めています。

お客様とともに

● お客様への情報発信

不二家ウェブサイトでは、お客様が必要としている情報を積極的に発信しています。

お客様に安全・安心な商品をお届けするための取り組みをお伝えする「不二家の取り組み」や、お客様から数多く寄せられる質問を回答とともに掲載する「お客様窓口」など、コンテンツを充実させ、積極的な情報発信を行っています。

今後も、最新の情報をすばやくお客様にお届けできるよう努めていきます。



お客様窓口

● お客様からいただいた声

2011年1月～2011年12月はお客様から約26,000件のお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は、約18,600件がお問い合わせ・ご意見であり、約7,300件がご指摘事項でした。

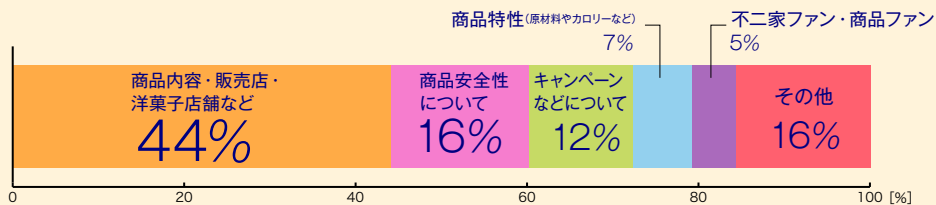
お問い合わせ・ご意見のうち、約16%が商品の原材料やカロリー、アレルギーなどについてであり、約44%が商品内容や販売店、洋菓子店舗の営業についてのお問い合わせに関するものでした。

お客様からのお問い合わせの多い商品特性(カロリー・アレルギー情報)については、ウェブサイト内の商品情報ページにて公開しています(洋菓子事業本部商品の一部を除く)。また、洋菓子店舗では商品のプライスカードにアレルギー情報を載せています。

そのほか、フランチャイズオーナーの募集などについてのお問い合わせも数多くいただくため、ウェブサイトでは専用の「お問い合わせフォーム」を設置しています。

今後も、より幅広い情報提供ができるよう努力していきます。

お問い合わせの内訳



● お客様とのコミュニケーション活動

【地域とのコミュニケーション活動】

不二家では、各事業所の周辺地域の皆様と、さまざまなコミュニケーション活動を実施しています。

2011年8月9日には、神奈川県の秦野工場にて、夏休み特別企画「カントリーマアムの工場を見学してカントリーマウム作りに挑戦しよう」を開催しました。

当イベントは秦野市が、地域産業や仕事の大切さを学ぶこと、また子供同士の交流や親子の絆を深めることを目的に主催し、不二家が協力したものです。

親子10組(22名)の参加者は、カントリーマアムの生地を使い、自分だけのオリジナルクッキー作りに挑戦しました。また、カントリーマアムの製造ラインの見学、ペコちゃんとの交流などを通し、食やコミュニケーションの大切さを学んだ充実した一日となりました。



参加者が作ったオリジナルカントリーマウム



ペコちゃんと一緒に記念撮影



工場内を見学している様子



真剣にカントリーマウムを作っている様子

【工場見学を受け入れ】

不二家では、工場所在地域の小学校や中学校、高校からのご要望にお応えし、工場見学の受け入れを実施しています。

工場の概要、製品の作り方を説明した後、実際に工場の製造ラインを見学します。初めて見る製造ラインに参加者は興味深々です。

不二家商品について、原料や製造方法をご紹介できる貴重な機会となっています。



平塚工場の製品について説明している様子



平塚工場内を見学している様子

【職場訪問を受け入れ】

不二家では、全国の中学校や高校からのご要望にお応えし、職場訪問の受け入れを実施しています。

2011年には、年間で28校の職場訪問を受け入れました。不二家の企業概要、ペコちゃんの歴史、商品紹介、商品企画のプロセス、商品にまつわるエピソードなどを、スライドを使用しながら分かりやすく説明しています。

また、学生からの質問に答えたり、新商品を試食してもらうなどのコミュニケーションを図っています。



スライドで説明する様子



学生からの質問に答える様子

株主・投資家の皆様とともに

● IRツールによる情報開示

不二家はIRツールを使って、株主・投資家の皆様と綿密なコミュニケーションを図っています。各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。

IR情報

●ウェブサイト

<http://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>
IR関連ニュースによる情報発信や財務ハイライトページなど、各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。



●報告書

事業活動の概況などに加え、不二家の新しい取り組みや新商品情報など、内容を充実させ、株主様のお手元にお届けしています。不二家ウェブサイトにも報告書を掲載しています。



● 株主優待制度

年1回の権利確定日*現在の株主様に対し3月中旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

※権利確定日…毎年12月31日。

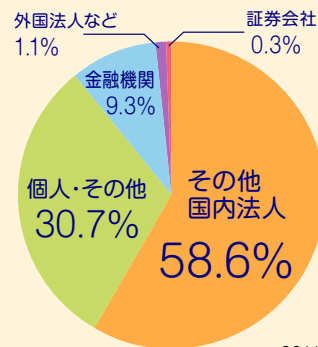


株主ご優待の基準及び内容

株主ご優待券は、不二家の洋菓子店・喫茶及び不二家レストランでご利用いただけます。

所有株式数	ご優待内容
1,000株から4,999株まで	株主ご優待券 500円券×6枚
5,000株から9,999株まで	株主ご優待券 500円券×8枚
10,000株以上	株主ご優待券 500円券×12枚

所有者別株式数



2011年12月31日現在

● 株主様アンケート実施

株主総会に出席された株主の皆様にはアンケートを実施し、当社に対する貴重なご意見をいただいています。今後も、株主総会を株主様の声を直接お伺いすることができる大切な機会と捉え、より多くの株主様にご満足いただける運営を目指しています。

従業員とともに

● 人材育成

不二家の人事制度の最重要ポイントは「やりがいのある仕事に携わり、夢を実現させる後押しのための仕組み作り」です。従業員自身が働く中で「幸せ」を感じることで、そして、この従業員の「幸せ」が、商品・サービスを通してお客様に提供する「幸せ」にもつながってくると考えています。

人材の即戦力化が求められる中、不二家では新人教育を重視し、入社からの5年間にOJTはじめ、コース・職種・役割・資格別などに作成した教育プログラム、集合研修や自己啓発などのフォローアップ研修を行っています。

また、各年度の研修受講生から数名ずつを選抜した、縦割りの研修として、フォローアップエクストラ(EX)研修も行っています。



フォローアップ研修の様子



総務人事本部 人事部
室田 圭祐

フォローアップエクストラ研修では受講生同士の世代間交流も兼ね、年次の研修で学んだことを共通言語とし、刺激を与え合うことで、職場においても協力し合える体制を整えます。また、職種ごとにグループを作り、職場の問題点に対して改善案をまとめ、経営トップに対して発表します。職場改善について、経営と若手社員の意見の交換もできるという貴重な機会にもなっています。

● 社内公募制度

不二家は個人のモチベーションアップや、組織の活性化などを目的とした人事制度を導入しています。

社内公募制度の意義は、社員主体による配置転換の自由度を高めることによって、人材流動化促進、スキルや意欲のミスマッチ解消、適材適所を実現し、社員が最も力を発揮できる環境を整えるものです。

不二家における社内公募制は、「社内求人型」です。会社が必要とするポストや職種の要件をあらかじめ社内に公開し、応募してきた社員の中から必要な人材を選抜する仕組みです。

この制度の導入後、自身のキャリアアップを目指し、複数の社員が実際に異動しています。

● 育児と介護を支援

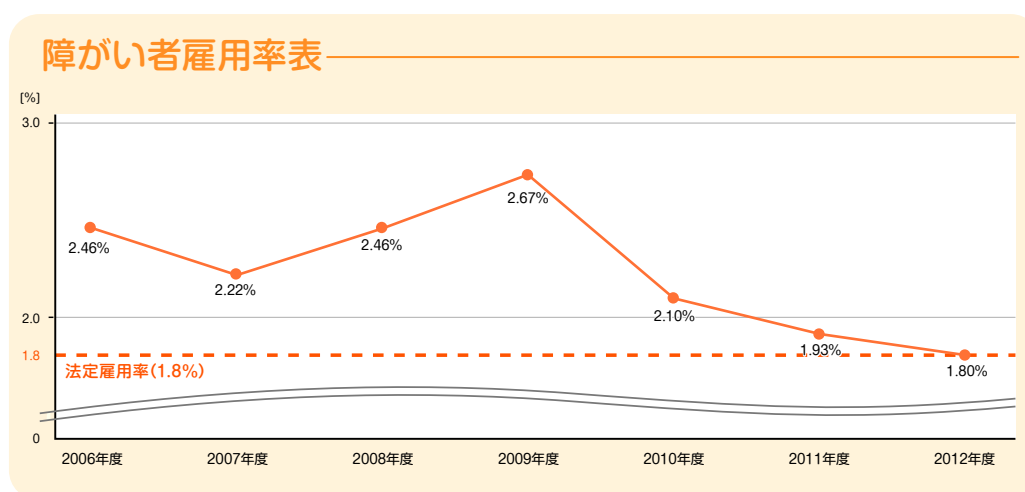
不二家は育児や介護を行う従業員が、仕事と家庭を両立できるよう、育児・介護を支援する制度を設けています。

不二家での2011年度育児休職者は10名、短時間勤務制度利用者10名でした。今後も制度利用を促進するために、さまざまな施策を講じていく方針です。

● 障がい者雇用

不二家は全国の工場や本部事務職を中心に、雇用に取り組んでいます。

2004年以降、1.8%以上に相当する法定雇用障がい者数を維持しています。2012年3月末現在の障がい者雇用者数は1.8%相当です。



● 高齢者雇用

社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、豊富な経験と技術を持っている社員の活用を行っています。

満60歳に達する社員のうち、再雇用を希望し、会社が提示する職務に合致した社員を対象として継続雇用する「再雇用制度」(60歳定年後)を導入しています。2012年3月15日現在、115人の方々が再雇用者として在籍しています。

● 労使協力関係

不二家は、管理職及び経営に関する部署の人員を除く全社員が「不二家労働組合」に加入しています。

労使間では、健全な企業経営と企業の永続的な発展を目指し、以前より実施している「労使協議会」「経営協議会」に加え、「労使懇談会」(2009年6月より開催)を開催し、経営トップと組合幹部とが諸問題について忌憚のない意見交換を行う場を設けました。

これにより、経営上の課題改善や、人事労務関係の諸施策導入など、スピーディな対応を行っています。

● 労働安全衛生

不二家は全てのお客様に、安全で安心な商品をお届けするために、従業員の安全・健康に配慮し、それぞれの事業所の全従業員が安心して働くことができる職場環境作りが不可欠だと考えます。

そのために、労働災害の防止や、心身の健康維持増進に向けた施策を実施しています。

全社的な労働安全方針の策定や、安全対策の実施、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」と、全国の工場、営業所・支店、また、直営店舗（エリアごと）に「労働安全衛生委員会」を組織し、現場での問題解決や、緊急連絡網の整備、また、災害発生時における迅速な対応ができるよう取り組んでいます。

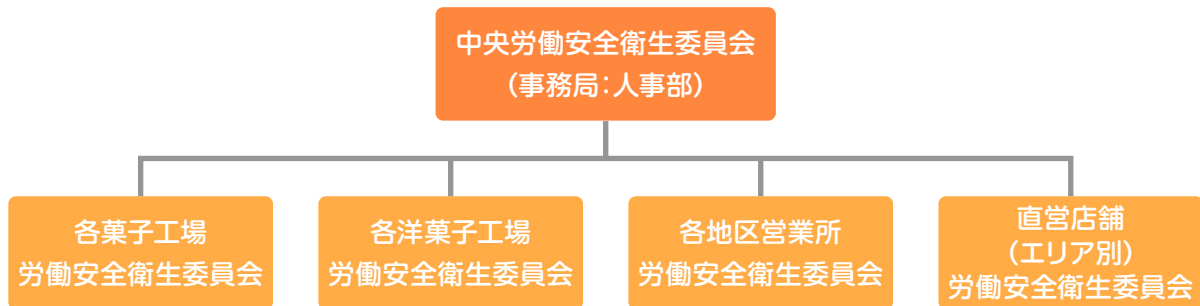
労働安全に対し、経営トップから強い意志が示され、中央労働安全衛生委員会メンバーを中心に全国の工場を巡回し、設備の改善などを進めた結果、労働災害の発生件数は減少してきています。

● 不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、
社員の安全と健康の確保を第一とし、
働きやすく、快適な職場作りを行います。」

- ①労働災害ゼロを目指します。
- ②健康管理の対策を講じ、社員の健康維持増進を進めます。
- ③正規社員だけでなく、パートなど臨時社員を含めた全社員で労働安全衛生の取り組みに参画し、全社員で労働安全衛生の認識を共有します。

・2011年 不二家スローガン
「安全第一『愛』」で防ごう労働災害



野木工場 総務・人事課 課長
伊藤 和則

昨年10月、栃木地方産業安全衛生大会において、野木工場は、栃木労働局長から『奨励賞』をいただきました。大変身に余る光栄で、さらに安全衛生活動を充実せよとのメッセージと受けとめています。今後も事業場内の安全対策の拡充はもとより、安全作業のルールを守ることの大切さを全従業員が共有し、労働災害ゼロの職場作りを目指します。

野木工場は安全で働きやすく、心身ともに健康な職場から、お客様に喜んでいただける商品を提供し続けます。

● 社内情報の共有

不二家は、横断的に集めた社内若手メンバーを中心に小委員会を運営し、2種類の社内報を発行しています。

毎週金曜日に発行している週刊社内報「WEEKLY Sweeet!!」は、社内イントラネットに掲載し、社内情報の発信を行っています。社内情報のいち早い共有を目的に、各事業部や、工場、本社部門に加え、不二家グループ各社の情報を毎週お届けしています。

新商品情報や新店舗開発情報、工場やエリアごとの取り組みなど不二家グループ内のさまざまな情報を紹介し続けています。



話題作りに一役買う社内報



「Sweeet!!」を読みながら談笑する従業員

年3回発行している冊子の社内報「Sweeet!!」は「今の不二家を見る！ 明日の不二家を考える!!」をテーマに、経営からの情報発信をはじめ、日常業務で役立つ企画や、新商品情報などバラエティに富んだコンテンツを掲載し、従業員間のコミュニケーションツールとしても活躍しています。



「Sweeet!!」



「WEEKLY Sweeet !!」

VOICE

「Sweeet!!」と「WEEKLY Sweeet!!」の発行をいつも楽しみにしています。

近年平塚工場では若手社員が増えており、不二家グループ会社を含む各部署の情報が掲載されている社内報は、コミュニケーションを図るツールとして欠かせません。また、なかなか会う機会のない社員も多くおり、皆がそれぞれの職場で活躍している姿を見ると、自分も頑張ろうと励みになります。

今後も不二家全体を見渡した臨場感あふれる記事を期待しています。

平塚工場 原料加工課 組長 櫻井 卓也



不二家ファミリー文化研究所

● 不二家ファミリー文化研究所とは

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家が、「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何ができるだろう?」という思いから2003年4月に誕生しました。

不二家ファミリー文化研究所の所長は、研究所の創始者であり、現在は社長である櫻井が兼務しています。

テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

食品を扱う私たちにとって、いうまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして創業以来、「ファミリーの不二家」という企業理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

【活動内容】

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子に対する興味喚起や情報の提供」などを行っています。

具体的な活動については、ウェブサイト「ペコちゃんの森」や、不二家ファミリー文化研究所が発行するチラシ(アニバーサリー通信)にてご報告しています。毎月不二家の日(28日)に発行している「アニバーサリー通信」は、全国の不二家洋菓子店舗、営業所、関連する工場や本社などに配布し、不二家ファミリー文化研究所の活動やウェブサイトのご紹介、そのほか公募の告知などを行っています。

【ウェブサイト「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ウェブサイト「ペコちゃんの森」(<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)を立ち上げ、2009年4月にはより見やすいサイトへとリニューアルを行いました。

ウェブサイト「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場になっています。また、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。



ウェブサイト「ペコちゃんの森」コンテンツ

● 親子イベントなどの公募

“食育”“家族の絆”などをテーマにしたイベントの紹介や、参加募集の告知などを行っています。

● 「食」に関するコラムの掲載

毎日新聞社発行の「毎日小学生新聞【食の歳時記】」に掲載している食文化にまつわる話や、季節の歳時に関するコラムを、イラストを交えながらご紹介しています。

● 日本の風土や文化についてのご紹介

日本各地の風土や文化、現地の人々との温かい交流のエピソードを、ご紹介しています。

● 世界の文化についてのご紹介

日本にお住まいの外国人の方や、海外に滞在経験のある日本の方から、その国の食文化や生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについてインタビューをし、写真を交えてご紹介しています。

● アンケート調査の実施

「家族」や「夫婦」、「日本の文化」など、さまざまなテーマを基にアンケート調査を実施し、調査結果を毎月ご紹介しています。

また、過去に連載していたマンガで読めるアンケートレポートも掲載しています。

このほかにも、パソコンでご利用いただけるペコちゃんの「壁紙カレンダー」の無料配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントのご報告なども、随時ご紹介しています。



● イベント活動

不二家は、「食育」や「自然」をテーマにしたイベントの企画・実施や協賛などを行っています。
親子のふれあいの場や、お客様と一緒に楽しく学ぶ場を、意欲的に設けています。

【第1回ペコちゃんキッズアカデミー～ありがとうとおもてなし 親子でスイーツ作り～】

「ペコちゃんキッズアカデミー」は、食の大切さを学び、家族の絆を深めることを目的に、2011年よりスタートした、不二家ファミリー文化研究所主催のイベントです。

2011年8月29日、東京・汐留「ABCクッキングスタジオ」にて第1回を開催し、11組の親子が参加しました。お子様たちは、お母さんへの感謝の気持ちを込めて、ソースやホイップクリームを使用して不二家の「本格生チョコケーキ」のデコレーションに挑戦し、完成したケーキをお母さんへプレゼントしました。

食への興味を深めるとともに、「おもてなし」の心を学ぶ場となりました。



第1回ペコちゃんキッズアカデミー～ありがとうとおもてなし 親子でスイーツ作り～
(2011年8月)

【ペコちゃんが行く！ 不二家キャラバン隊】

「ペコちゃんが行く！ 不二家キャラバン隊」は、2010年に開始した、ペコちゃんがキャラバンカー「ペコちゃん号」に乗って全国の児童施設を訪問する企画です。

訪問先の施設では、ダンスやクイズなど、ペコちゃんと一緒に楽しみいただけるプログラムを実施しています。

2011年は、震災の影響で活動を自粛していましたが、10月より活動を再開しました。再開直後は被災地の保育所・幼稚園を訪問し、現在は順次全国の児童施設を回っています。



「ペコちゃんが行く！ 不二家キャラバン隊」児童施設訪問の様子

【元町ハロウィン】

「元町ハロウィン」は、横浜元町ショッピングストリートのお店のスタッフが、いろいろな仮装でお子様にお菓子を配る、手作り感あふれる地域イベントです。

ハロウィンを楽しみながらも、「ありがとうの気持ちを伝える大切さ」をお子様たちに体験していただけるのが、このイベントの魅力の1つでもあります。

不二家はそんな、お菓子とお子様を「ありがとう」の言葉でつなぐこのイベントの主旨に賛同し、2007年よりグッズやお菓子を提供するなどの協賛をしています。

また不二家にとって、横浜元町は、1910年(明治43年)に、初めて洋菓子店を開いた「発祥の地」です。そんな、横浜元町のイベントに、2011年もペコちゃんとポコちゃんがオリジナルハロウィン衣装で参加し、地域の方々との交流を深めました。



元町ハロウィン(2011年10月)



環境

P27 環境方針／環境マネジメント
P30 環境保全活動

P29 事業活動のマテリアルバランス



省資源、省エネルギー、CO₂削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供しようと考えています。

ISO14001活動の中で、従業員の環境意識向上にも取り組んでいます。

環境方針

【環境方針について】

不二家は2000年に制定した「環境基本理念」「環境基本方針」を基本に、従業員ひとりひとりが不二家の果たすべき責任と役割を認識し、サステナビリティ、資源循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指してまいります。また、積極的に地球環境、生態系への負荷低減、生物多様性の保全と資源の有効活用に向けた環境活動に取り組み続けます。

〈環境基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識いたします。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健康と安全を守るとともに、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献してまいります。
- 今後は、さらに事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動してまいります。

〈環境基本方針〉

1. 事業活動、商品、業態、サービスなどがかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
2. 環境関連の法律、規制、協定などの遵守はもとより社会要請に応える環境管理体制の整備と充実を図ります。
3. 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルおよび環境汚染物質排出量の削減に取り組みます。
4. 地域における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組みます。
5. 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的にを行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

環境マネジメント

【環境マネジメント体制】

環境マネジメント体制の強化と、迅速な行動・コミュニケーション強化を図るため、各工場を社長直轄の体制としています。また、ISO14001認証取得工場では「環境管理委員会」を設置し、環境マネジメントシステムで設定した目的・目標の達成のための取り組み状況とパフォーマンス達成状況や環境関連法規の遵守状況を毎月確認し、組織的に推進することで、継続的な改善を図っています。

さらに、全工場間の技術や環境情報を共有する目的で、「環境管理担当者会議」を定期的に行い、目標や課題への具体的な対策を検討し改善への行動に結び付ける環境マネジメントを推進しています。



● 環境教育

【内部環境監査・研修】

環境マネジメントの運用には、システムを運用する従業員ひとりひとりの意識向上と、適切な知識が欠かせません。

ISO14001 認証取得工場ではISO14001：2004規格の規定に基づき、不二家の内部環境監査員資格をもった監査員が、各工場毎に相互に連携して内部環境監査を行い、環境マネジメントシステムが適切に実施、維持されていることを確認しています。

内部環境監査の結果は経営層に報告し、環境マネジメントレビューの際の重要な資料となります。

また、昨年は内部環境監査員の資格を取得するための教育を2011年10月に実施し、5事業所の34名が受講しました。

これにより、各工場の内部環境監査員数が増強され、その後の内部環境監査において内容の充実した監査を実施することができました。今後は、ブラッシュアップ(知識に磨きをかける)教育を定期的に行うなど、さらなる内部環境監査の質の向上を図っていきます。



内部環境監査の様子(平塚工場)

事業所	内部環境監査員数(人)
秦野工場	57
平塚工場	40
富士裾野工場	36
野木工場	11
埼玉工場	22
泉佐野工場	14

各工場の内部環境監査員数 (2011年12月現在)



内部環境監査員研修の様子

ISO14001 認証審査



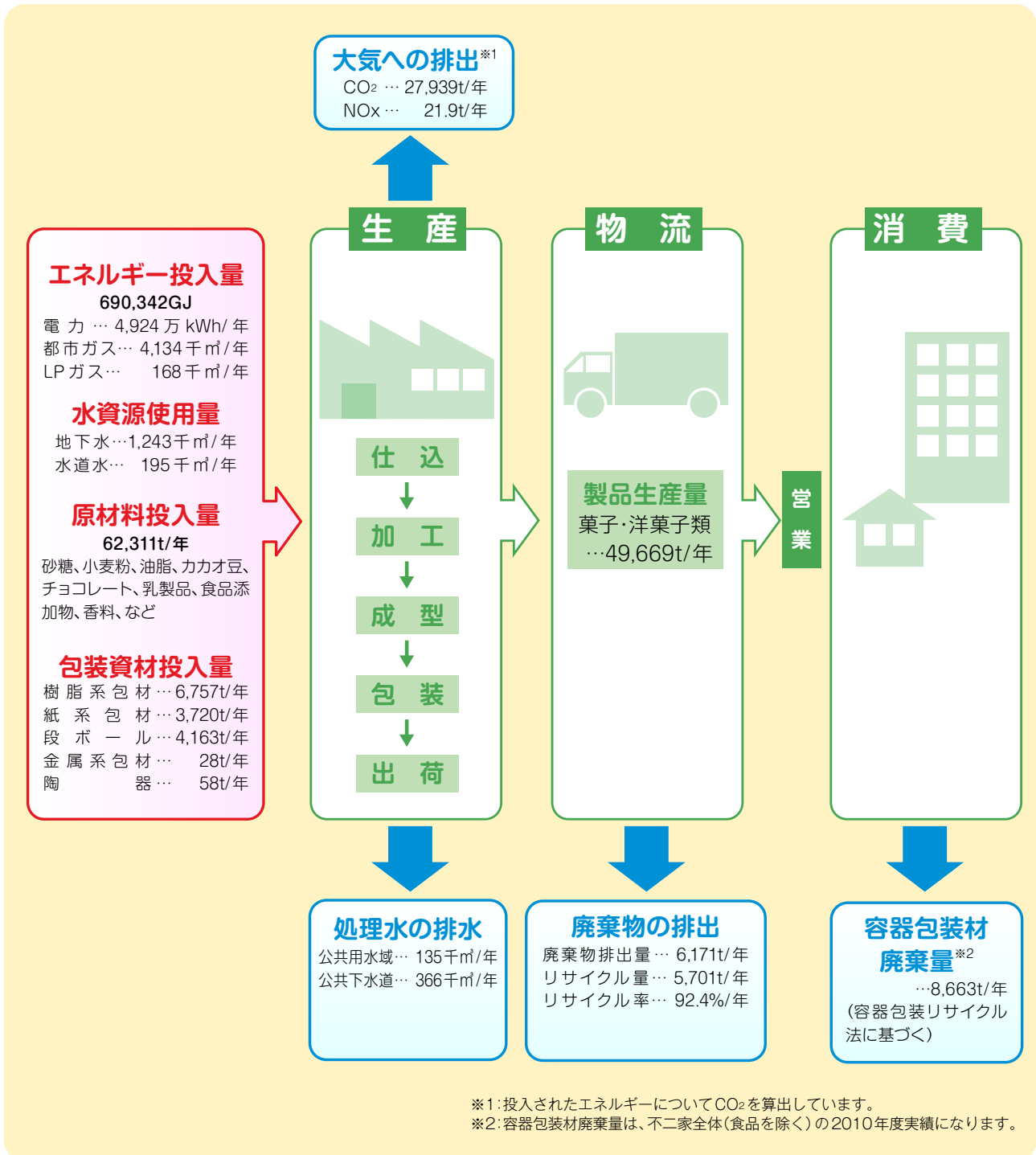
外部認証機関による審査の様子(埼玉工場)

内部環境監査員研修に参加して (VOICE) 研修後のアンケートより抜粋

- 工場のマニュアルと対比して、進められたので、ためになった。
- 演習の時間が長いほど実際の監査に役立つと思った。
- 環境に関する基礎知識が自分に不足していると感じました。
- 短い時間であったため、理解ができないことがあった。整理してから事務局に相談したい。
- 演習において、内部監査を実際にロールプレイングで体験できたのが良かった。
- 受講生も参加するスタイルで大変わかりやすかった。
- もっと時間をかけて講義を受けたかった。
- 普段は演習の機会がないので良い経験になりました。

事業活動のマテリアルバランス

2011年度製造6工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場、泉佐野工場)のマテリアルバランス
(2011年1月～2011年12月)



環境保全活動

● 地球温暖化防止への取り組み

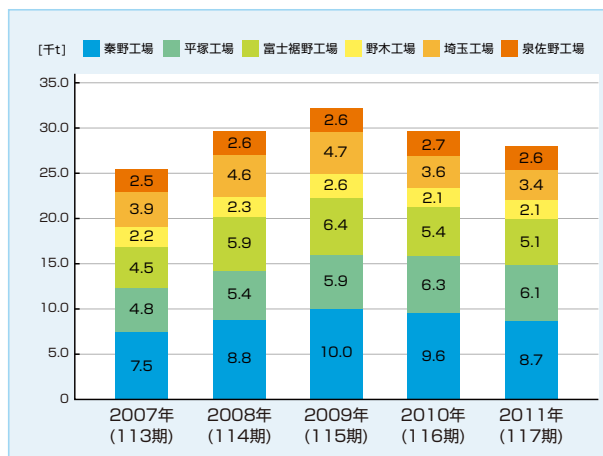
【CO₂排出量削減対策】

不二家の各工場では、エネルギーの効率的な利用を目指して、冷凍機や空調機などの設備を環境負荷の低いものへ入れ替えています。

平塚工場では、2011年度に、チョコレート包装ライン室にある空調設備を更新しました。これにより、年間41.3tのCO₂排出量削減と環境負荷の低い冷媒ガスへの代替を実現しました。また、この対策により、温度管理をより正確に行えるようになりました。



更新した空調設備(平塚工場)



工場におけるCO₂排出量推移



平塚工場 工務課 班長
丸山 智史

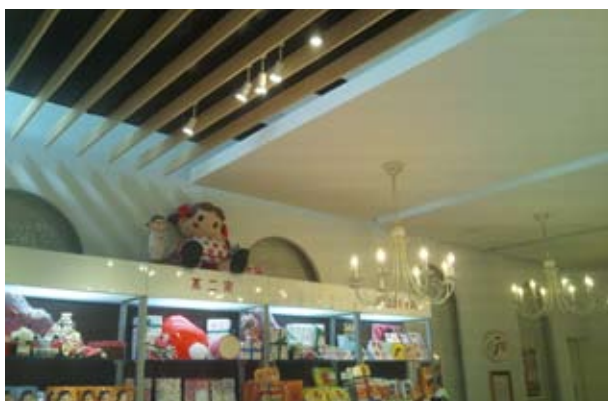
今回の件については前年の6月から温度、湿度計測器を自分たちで設置し、実際の空調負荷を調査したうえで機種選定を行いました。それにより適正な仕様を選定できたことでさらに無駄を省くことができました。また、設定温度と実温度を操作パネルにて確認(見える化)ができたことで、温度管理が容易になりました。今後は、空調系冷凍機だけでなく生産設備関連の冷凍設備についても高効率化を図り、温室効果ガス削減及び省エネ活動を推進してまいります。

本社ビルでは2009年8月より、毎日19時にフロアの一斉消灯を実施しています。

さらに、2009年10月からは、毎週水曜日を「ノー残業デー」に設定し、従業員ひとりひとりが「仕事の内容」を見直す機会となるとともに、人生を充実させる働き方・生き方である「ワークライフバランス」の推進に努めています。

【夏季の節電対策】

夏季の節電対策として、不二家洋菓子店や不二家レストランの照明の間引きや、新店の照明のLED化、一部店舗のショーケース内照明のLED化を実施しています。また、一部の工場では建物を屋根からの散水で冷却することにより、室温上昇を抑制する工夫も行っています。



レストランのLED照明(横浜センター店)

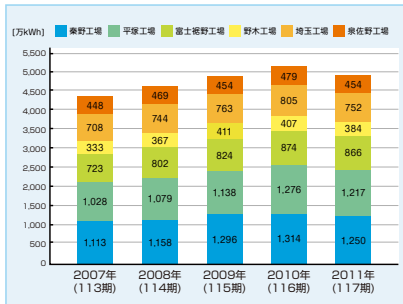


屋根の散水装置(富士裾野工場)

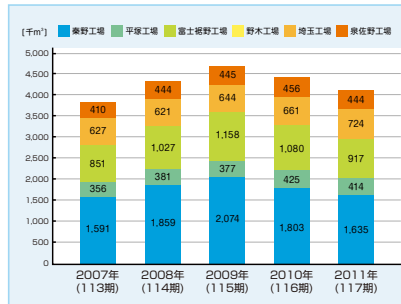
● 省資源・省エネルギーへの取り組み

【エネルギー源使用量の推移】

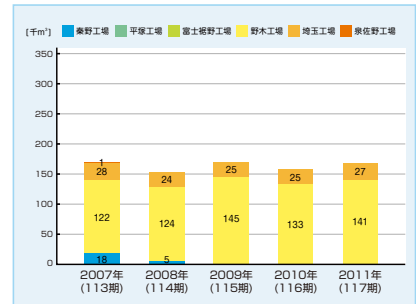
不二家は各事業所・工場において製造設備の工程改善、省エネルギー設備の導入・運転の合理化や空調設備の運転方式の改善など、省エネルギー対策に努めています。今後も、設備の整理統合や新技術の導入検討など、エネルギー使用量の削減に積極的に取り組んでまいります。2011年度の製造6工場における電力・都市ガスの使用量は、野木工場を除く5工場の製造量が前年と比較して減ったため、減少しました。



電力使用量推移



都市ガス使用量推移



LPGガス使用量推移

● リサイクルの取り組み

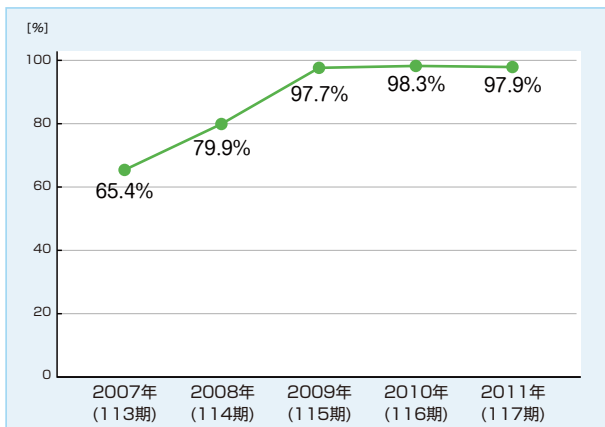
【食品廃棄物リサイクルの取り組み】

不二家の2011年度の食品リサイクル率は89.1%※1となりました。

これは各店舗や工場より排出される動植物性残さ※2などの食品廃棄物や、製品廃棄物も含めた全社でのリサイクル率です。2011年度も積極的に排出される食品廃棄物の製品特性に合わせた処理委託先にてリサイクルをしましたが、主に2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響による原料・製品廃棄物等の排出量が増加したため、前年度と比較して2.7ポイント低下しました。

工場では廃棄物の発生抑制に努めていますが、菓子の製造過程で発生、排出される食品廃棄物は主に肥料や飼料などにリサイクルをしています。今後も、より付加価値の高い再資源化に組み込み、限りある資源の有効な循環利用を図ります。

泉佐野工場では、洋菓子成型品の廃棄物発生量を減らすために、ケーキの製造過程で発生する未利用の食料を有効利用した商品開発に取り組んでいます。



製造6工場の食品リサイクル率推移



未利用の食料を有効利用した商品 「ストロベリーリング」



洋菓子事業本部 製品開発部
泉佐野工場駐在 係長
小林 徹

未利用の食料を活用した商品の開発は、環境活動や収益改善など多くのメリットがある一方で、生産できる数量が限られてしまうことや食品衛生に基づいて適切に管理することなど、通常生産する商品と異なる部分が多く、関係部署と連携をとりながら継続して製造することに苦労しました。

※1 食品リサイクル法に基づく、定期報告のリサイクル率です。

※2 動植物性残さ：食品製造業など特定の業種の製造工程から排出される固形状廃棄物で、原料として使用した動植物に関わる不要物。大部分は肥料・飼料として利用され、一部が焼却、埋め立て処分されます。

● 各事業所における環境保全活動

【社会貢献活動】

不二家の各事業所では、地域社会との交流を図りながら、積極的に環境保全活動に参加し、企業としての社会的責任を果たしています。

【緑化活動】

秦野工場では、市民による森林作り活動にボランティアとして参加し、神奈川県丹沢の「秦野市植樹祭」植樹地において育樹活動を行いました。

また、平塚工場では、1965年以來、「平塚地区環境対策協議会」主催の相模川をきれいにする活動に参加し、河川の清掃・植栽活動を行っています。



秦野市植樹祭植樹地の育樹活動(秦野工場)



相模川河川敷の植栽活動(平塚工場)

【環境美化活動】

不二家では全国の事業所で、地域の環境美化活動に協力しています。富士裾野工場では、「狩野川水系水質保全協会」が主催する五竜の滝清掃や親子水生生物調査に参加し、河川の清掃と生物多様性の保全活動に積極的に取り組んでいます。

また、秦野工場では秦野地区産業廃棄物対策協議会に参加して、不法投棄物の撤去作業協力を行うキャンペーン活動を行っています。



五竜の滝清掃活動(富士裾野工場)



不法投棄撲滅キャンペーン活動(秦野工場)

● トラスト活動

【黒姫「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄付をしました。

また、購入し寄付した森は、寄贈先のご理解を得て、「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議/工場(議長 倉本 聡氏、副議長 C.W.ニコル氏)」です。

この2,000坪強の「小さな森」は、熊笹や灌木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て、徐々に明るさを取り戻してきました。今後も定期的に不要な木を伐採して地面に日光を導き、植樹を行いながら、フナやドングリをはじめとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって、森にどのような変化が生ずるのかを観察するのも、森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化をしている「ペコちゃんの森」の様子を、ウェブサイト内にて定期的にご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っています。

【従業員による森林整備活動の実施】

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議様のご協力のもと、「ペコちゃんの森」の整備活動を定期的に行っています。

2011年は、7月に整備活動を実施し、社内の有志約17名とともに、「刈り払い作業(=樹木の成長を妨げる雑草を切り払う作業)」を行い、植樹に向けた準備を整えました。変化していく森の様子を肌で感じ、森林整備の大切さ、健康な森作りについての知識を高めながら、これからも整備活動を続けていきます。



「ペコちゃんの森」森林整備活動報告2011

<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/forest/clean/>

VOICE

森林整備活動(2011年実施) 参加者の感想

「ペコちゃんの森」の整備は3回目の参加でした。

当日はとても日差しが強く、水分をこまめに取りながら作業に臨みました。

普段使い慣れない鎌を使用して、雑草などの草木を伐採する作業は、一歩間違えると怪我などの事故も起こる危険があるとのこと。当日は、安全を心掛けて作業に取り組みました。

作業は大変でしたが、「ペコちゃんの森」に癒され充実した1日を過ごすことができました。

参加を通じ、森を再生する整備作業は、長い年月をかけて育成する活動で、とても根気の必要な活動だと実感しました。

2010年の7月に伐採して植樹を予定していた箇所にも、たくさんの雑草が生い茂っていたので、定期的に管理を行わないと、森の生態系が維持できないことも森林育成活動の難しさだと思いました。

これから「ペコちゃんの森」がどのように成長していくのかが、楽しみです。



菓子事業本部 北関東・信越統括部 宇都宮支店 加門 広匡

不二家のあゆみ

不二家は、1910年(明治43年)、横浜元町に「不二家洋菓子店」を創業して以来、時代に先駆けた数々の新しい事業にチャレンジしてきました。それは、日本に洋菓子(お菓子)を中心とした新しい食文化、食シーンの提案をし続けた歴史でもあります。

これからも不二家は、企業の果たすべき社会的責任において、お菓子を中心とした本来の事業活動を通じて、「社会・環境との調和」を目指し、社会活動、環境問題への取り組みを積極的に進めていきます。

年	主な出来事
1910年	藤井林右衛門(25歳)が横浜市元町2丁目86番地に洋菓子店を開店
1918年	シュークリーム、エクレアなどの販売を始める
1922年	フランス風ショートケーキの販売始める(1個8銭) クリスマス製品も販売する
1923年	銀座6丁目店開店
1934年	フランスキャラメル発売
1935年	チョコレート・キャンディの生産開始 ハートチョコレート発売
1938年	株式会社第二不二家を設立 資本金20万円 合名会社不二家を合併 資本金60万円 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
1950年	不二家のアイドル「ペコちゃん」誕生 年齢6歳
1951年	ミルキー発売 「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生する 年齢7歳
1952年	ソフトクリーム国産第1号を銀座6丁目店で売り出す クリスマスセール開始
1954年	パラソルチョコ発売・ポップキャンディ発売
1956年	バレンタインセール開始
1959年	平塚工場(神奈川県平塚市)完成
1960年	モンドセレクション当社第1回の商品出品で金賞をとる
1962年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場 ルックアラモード発売 札幌工場(北海道札幌市)完成
1963年	フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
1964年	ネクター発売
1965年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第一部に株式上場 オバQシリーズ発売
1968年	ホワイトデーセール開始 ノースキャロライナ発売 ホームパイ発売 埼玉工場(埼玉県新座市)・秦野工場(神奈川県秦野市)完成
1969年	野木工場(栃木県下都賀郡)完成
1971年	泉佐野工場(大阪府泉佐野市)完成
1972年	英国ロントリー マッキントッシュ社と技術援助契約を締結
1973年	キットカット発売 ビーアールジャパン株式会社(現B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社)を設立し、 アイスクリームチェーンに着手
1976年	米国ペプシコ社と合弁会社不二家フリトレー株式会社を設立、スナック食品部門に進出(現在は解消)
1978年	株式会社不二家ロードサイドレストラン(現株式会社不二家フードサービス)を設立 ロードサイドレストラン1号店 川口青木店開店
1979年	米国ハーシーフーズと技術援助契約及び輸入総代理店契約締結(現在は契約解消) ピーナッツチョコ発売



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
1982年		仏国ソシエテ・ヌーベル・ダロワイヨ社と技術援助契約及び輸入総代理店契約締結 自由が丘にダロワイヨ1号店を開店 フランチャイズチェーン導入の貢献により通商産業大臣賞受賞
1984年	7	カントリーマアム発売
1989年	6 10	不二家とネスレ社との間で合併会社ネスレマッキントッシュ株式会社を設立(現ネスレ日本株式会社) 株式会社ダロワイヨジャパン設立
1990年	6 -	富士裾野工場(静岡県裾野市)完成 アンパンマン商品発売
1992年	-	ネクター食品ヒット大賞「ロングセラー賞」受賞(日本食糧新聞社主催)
1994年	6 11	「ペコちゃんのほっぺ」発売 九州工場(佐賀県神埼郡)完成(現吉野ヶ里工場)
1997年	4	不二家ホームページ開設
1998年	5	不二家キャラクター人形の「ペコちゃん」「ポコちゃん」が立体商標第一号として特許庁より認められる
2000年	2 5 9 11 12	「環境宣言」の制定 / ISO14001 認証取得の取り組み開始 容器包装リサイクル法に対処 ネスレマッキントッシュ株式会社の株式売却 埼玉工場 全ボイラーを小型貫流ボイラーに転換 富士裾野工場 廃棄物焼却炉廃止
2001年	3 4 8	カフェテリアプラン制度導入 富士裾野工場 ISO14001 認証取得 埼玉工場 全小型貫流ボイラーを都市ガス化
2002年	4 10 11 12	平塚工場、秦野工場 ISO14001 認証取得 埼玉工場 廃棄物焼却炉廃止 「不二家 行動規範と行動指針」の制定 野木工場 廃棄物焼却炉廃止
2003年	3 4 4 6 7 7 8 9 10 11	平塚工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化 野木工場 ISO14001 認証取得 不二家ファミリー文化研究所設立(以下ファミ文研という) 大阪、名古屋 各証券取引所への上場廃止 コンプライアンス委員会設置・コンプライアンス推進規程制定 環境報告書を初めて発行 ファミ文研 ペコちゃんの森トラスト活動開始 「環境宣言」の改訂 埼玉工場 ISO14001 構築・運用開始 ファミ文研 「水土里の体験展」協賛開始
2004年	2 2 6 10	不二家(杭州)食品有限公司を中国現地法人として設立 埼玉工場 電力高圧トランスをアモルフアスタイプへ更新 秦野、平塚、富士裾野各工場を統合し湘南工場発足 埼玉工場 ISO14001 認証取得
2005年	7 7 12	個人情報保護基本規程制定 ISO9001 認証取得の取り組み開始 秦野工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化
2006年	1 3 3 4 4 6	「品質方針」の制定 泉佐野工場 廃棄物焼却炉廃止 ファミ文研 「めざせ! 食育マイスター」イベント協賛開始 定年退職者再雇用制度開始 泉佐野工場 ISO14001:2004 構築・運用開始 ISO9001 認証取得 (菓子事業本部(営業部、マーケティングG、SCMG、事業管理G、研究開発G、湘南工場)、品質保証部、調達部)



不二家のあゆみ

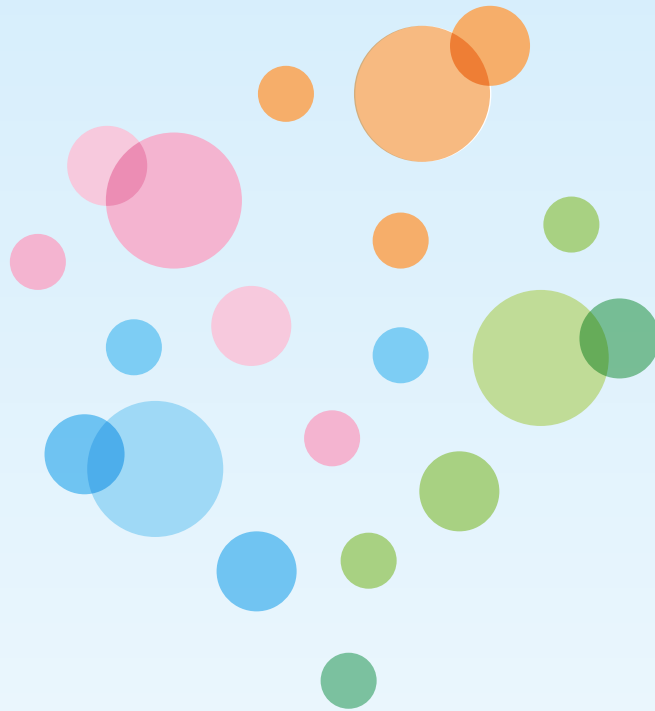
年	月	主な出来事
2006年	8	秦野工場 汚水処理施設の汚泥減容化装置を稼動開始
	10	泉佐野工場 ISO14001:2004 認証取得
	10	湘南工場を菓子3工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場)に組織分離
	10	ファミ文研 ホームページ上で「食の歳時記」連載開始
2007年	1	「『外部から不二家を変える』改革委員会」発足
	1	「信頼回復対策会議」発足
	1	富士裾野工場 ボイラー・オープン設備を都市ガス化 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度に菓子業界として初の参加)
	2	AIB 食品安全システム導入
	2	山崎製パン株式会社と食品安全管理体制整備の支援に関する覚書を締結
	2	秦野工場・平塚工場・富士裾野工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結
	3	埼玉工場・泉佐野工場・九州工場・野木工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	「品質方針」の改訂
	4	山崎製パン株式会社に対する第三者割当増資を実施
	4	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止
	5	「外部から不二家の発展を見守る会」発足
5	ISO9001 認証一時保留/ISO9001 認証一時停止	
6	「環境宣言」の改訂	
6	CSR 推進部・食品安全衛生管理本部設置/内部統制システム構築着手	
7	フード連合様を通じ菓子製品在庫の無償提供を実施	
7	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止	
7	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
8	コンプライアンス推進規程改訂	
9	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
9	ISO9001 認証一時停止解除	
11	ベーカリーカフェの新業態、「ママズカフェ」開店(船橋)	
12	「企業理念」「行動規範」改訂	
2008年	1	ISO9001 認証登録維持・継続 (菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部) [広域営業部、営業支店、食品品質検査担当、食品品質管理担当(工場駐在)、品質管理担当(洋菓子工場駐在)は除く]
	1	「不二家食品安全の日」制定・第1回「不二家食品安全の日」式典実施
	4	内部統制システム運用開始
	6	本社部門移転に伴い、本店所在地変更
	6	富士裾野工場 CO ₂ 排出枠(2007年度分) 300tを償却 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度)
	9	三井アウトレットパーク仙台港に「Peko Store」「FUJIYA PARLOR」開店
	10	食に関するオピニオンリーダーによる工場見学(秦野工場)実施
11	ケーキ in チョコ「スイーツトルテ」発売	
11	山崎製パンと新たな業務資本提携を締結(山崎製パンの子会社となる)	
2009年	1	第2回「不二家食品安全の日」式典実施
	2	埼玉工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	2	B-R サーティワンアイスクリーム株式会社とのコラボレーション商品「ルック(31 アラモード)」発売
	2	不二家洋菓子店で「生ミルク」発売
	3	野木工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	3	地域限定カントリーマアム「カントリーマアム(北海道ミルク)・(九州紫芋)」2品発売
5	不二家洋菓子店でキッコーマン株式会社とのコラボレーション商品「しょうゆスイーツ」2品発売	
5	富士裾野工場が食品リサイクル率100%を達成	
6	「大玉ミルク」発売	



不二家のおゆみ

年	月	主な出来事
2009年	6	平塚工場操業50周年記念式典実施
	8	平塚工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	8	カントリーマアムブランドに新コンセプトの「カントリーマアムクリスピー」登場
	8	銀座ペコちゃんミュージアム開催(期間限定:8/24～9/6)
	9	障がい者雇用優良事業所表彰を受ける
	10	不二家洋菓子店で「ミルクークリームロール」を発売
2010年	1	第3回「不二家食品安全の日」式典実施
	1	平塚工場が食品リサイクル率100%を達成
	2	「第61回全国植樹祭2010かながわ」に協賛し「カントリーマアム(秦野八重桜)」を発売(神奈川県限定)
	2	富士裾野工場が「食品産業CO ₂ 削減大賞」(主催:(株)日本総合研究所 後援:農林水産省)優良賞を受賞
	3	大丸松坂屋×不二家100周年コラボレーション企画「ペコちゃんギャラリー」開催
	4	洋菓子店新業態「ミルクーカーニバル大丸京都店」開店
	4	「本物の5S活動発表大会」開催
	4	埼玉工場 埼玉県食品衛生自主管理優良施設として確認票交付
	5	宮崎県口蹄疫被害支援助物資として、みやぎJA経済連にカントリーマアム、ミルクィー、ホームパイを寄贈
	5	不二家が協賛した「第61回全国植樹祭2010かながわ」が秦野市などで開催
		創業100周年記念事業
	8	「ハートフルコンサート2010」に協賛(東京フィルハーモニー交響楽団主催) 「ペコちゃんの歌」発表(作曲・編曲:久石譲、作詞:久石麻衣)
	8	「ペコちゃんスマイルコンテスト」最終審査&授賞式
	8	「ペコちゃんに“モードな服”をプレゼント」コンテスト (モード学園×新宿高島屋×不二家合同企画)
	9~10	「ペコちゃんが行く!不二家キャラバン隊」(児童施設77ヶ所訪問)
11	「おしゃべり店頭ペコちゃん人形」登場	
11	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定:11/1~11/21)	
11	秦野工場が「神奈川県地域共生型工場等」として神奈川県より表彰	
2011年	1	第4回「不二家食品安全の日」式典実施
	2	不二家洋菓子店で「本格生チョコケーキ」を発売
	3	事業報告書「株主のみなさまへ」にFSC認証紙及び植物油インキを採用
	4	新業態2号店「ミルクーカーニバル大丸梅田店」開店
	4	ペコちゃん、キャラバンカーで被災地訪問(福島県いわき市)
	5	ペコちゃん、キャラバンカーで被災地訪問(岩手県、宮城県)
	6	不二家洋菓子店で「ネクターロール」発売
	7	夏場の節電対策実施
	8	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定8/19~9/4)
12	「銀座ペコちゃん・Winter shop」開催(期間限定12/10~12/25)	
2012年	1	第5回「不二家食品安全の日」式典実施
	3	第1回「不二家防災の日」式典実施
	4	東京お菓子ランド「PEKOPOKO SWEET LAND」開店(期間限定4/14~9/2)





株式会社 不二家

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6
ウェブサイト <http://www.fujiya-peko.co.jp/>



© FUJIYA CO., LTD.

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 CSR推進部
Eメールの場合：不二家ウェブサイト内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。

本報告書記載記事の
無断転載・複製を禁じます。